

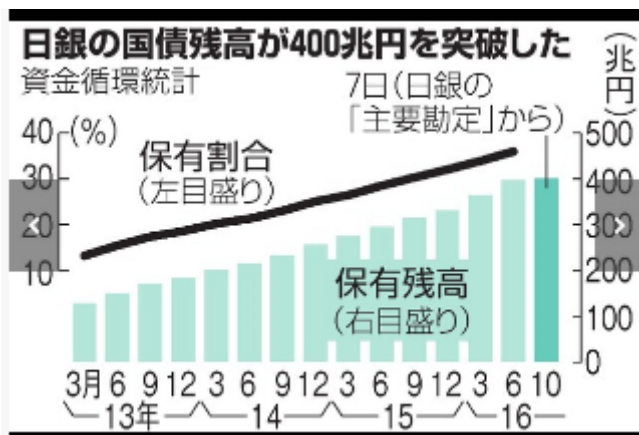
日銀の保有国債、400兆円初突破 黒田緩和で3倍超増

朝日新聞デジタル 10月11日(火)21時17分配信

日本銀行が保有する国債の残高が7日時点で初めて400兆円を突破した。2013年4月に大規模緩和を開始し、大量の国債を銀行などから買ってお金を流している。保有額は3年半で3倍超に増え、**発行額の4割近く**に達する。緩和で国債の低金利が続き、発行は増えている。事実上は日銀が政府の借金を引き受ける「財政ファイナンス」だとの指摘が強まっている。

日銀が11日まとめた「主要勘定」で明らかになった。大規模緩和前の保有額は約130兆円。黒田東彦（はるひこ）総裁就任後に買い入れが加速した。当初は保有が年50兆円増えるペースで買い、14年10月に80兆円増へ上積みした。政府の毎月発行額の多くを買っている形だ。

日本の債務残高は先進国で最悪の水準だ。**国債の発行残高は約1100兆円で、日銀保有分は4割近く。18年に5割を超える**とされる。日銀は国債を買ってお金を流し続けても「**物価上昇率2%**」を達成できず、政策の軸足を長期金利の操作へ移した。一方で国債保有を増やす政策も続ける。みずほ総合研究所の野口雄裕氏は「国の借金の多くを日銀が引き受けている状況で、**すでに財政ファイナンスに近い**」と指摘する。（土居新平）



日銀の国債残高が400兆円を突破した